

## 神戸市身体障害者用自動車改造費助成要綱

(目的)

第1条 この要綱は、重度身体障害者が自動車を取得し、その自動車の改造に要する経費（以下「改造費」という。）を助成することにより、重度身体障害者の社会参加の促進を図り、その福祉の増進に資することを目的とする。

(助成対象者)

第2条 改造費の助成対象者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 神戸市内に居住する者で、申請日から過去5年間に於いて改造費の助成を受けていない者
- (2) 身体障害者手帳の交付を受けた者で、その障害程度が、身体障害者福祉法施行規則別表第5号に規定する肢体不自由で、1級若しくは2級の者又は市長が特に助成の必要性を認めた者
- (3) 自らが所有し運転する自動車の操向装置、駆動装置等の一部を改造しようとする者又は6ヶ月以内に改造した者
- (4) 助成を行う月の属する年の前年（1月～6月の申請については前々年）の所得税課税所得金額が、当該月の特別障害者手当の所得限度額を超えない者

(助成対象経費)

第3条 助成対象となる経費は、対象者の身体の状態に応じて、操向装置、駆動装置の使用が可能となるよう設置されるものとする。なお、対象者が車椅子を必要とする者である場合は、移乗装置及び車椅子の収納装置の設置にかかる経費も対象とする。

(助成額)

第4条 改造費の助成額は、予算の範囲内で1件（自動車1台に限る。）あたり100,000円を限度として自ら支払いをした経費の2分の1以内の額とする。

(助成の申請)

第5条 改造費の助成を申請しようとする者（以下「申請者」という。）は、自動車改造費助成申請書（様式第1号）を、その居住地を管轄する福祉事務所長を経由し、市長に申請するものとする。

- 2 申請者は、申請書に改造を行う業者の見積書（改造の箇所及び経費を明らかにした図書を含む。）及び前年（1月～6月の申請については前々年）の所得税額課税所得金額を証明する書類を添付するとともに、身体障害者手帳及び運転免許証を提示するものとする。ただし、申請前にすでに自動車改造を完了した場合は、見積書に替えて改造を行った業者の領収書又は納品書（改造の箇所及び経費を明らかにしたもの。）写しを提出するものとする。
- 3 福祉事務所長は、前2項に掲げる申請書等を市長に送付するときは、申請書の記載内容を審査するとともに、身体障害者手帳及び運転免許証の写しを添付するものとする。

4 複数の自動車を所有している場合でも、申請は1台限りとする。

(助成の決定)

第6条 市長は、前条の申請書等を受理したときは、速やかに助成の可否を決定しなければならない。

2 市長は、改造費の助成を決定したときは、自動車改造費助成決定通知書(様式第2号)を申請者に交付するものとする。

3 市長は、改造費の助成を却下することに決定したときは、自動車改造費助成却下通知書(様式第3号)を申請者に交付するものとする。

(助成金の請求)

第7条 改造費の助成の決定を受けた者は、改造完了後に次に掲げる全ての図書を市長へ提出するとともに助成金を請求するものとする。

(1) 自動車改造完了届(様式第4号)

(2) 道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第58条に規定する自動車検査証の写し

(3) 改造を行った業者が発行した納品書(改造の箇所及び経費を明らかにした図書を含む。)又は領収証の写し(ただし、申請時に既に提出している場合は、省略できるものとする。)

(4) 自動車改造費助成金請求書(様式第5号)

(完了検査)

第8条 市長は、必要に応じて、実地に改造状況を調査できるものとする。

(助成金の支払い)

第9条 市長は、自動車改造費助成金請求書(様式第5号)に基づき速やかに助成金を支払うものとする。

(助成金の返還)

第10条 市長は、偽りの申請その他不正な手段により助成金の交付を受けたと認めた場合は既に交付した助成金の全部又は一部を返還させることができるものとする。

第11条 削除

(施行の細則)

第12条 この要綱の施行に関し必要な事項は、福祉局長が定める。

附 則

この要綱は昭和49年12月1日から施行し、昭和49年4月1日以降改造実施分から適用する。

附 則

この要綱は平成8年4月1日から施行し、平成8年4月1日以降改造実施分から適用する。

附 則

この要綱は平成10年10月1日から施行し、平成10年10月1日以降改造実施分から適用する。

附 則

この要綱は平成12年4月1日から施行し、平成12年4月1日以降改造実施分から適用する。

附 則

この要綱は平成16年4月1日から施行し、平成16年4月1日以降申請分から適用する。

附 則

この要綱は平成24年4月1日から施行し、平成24年4月1日以降申請分から適用する。

附 則

この要綱は平成24年5月1日から施行し、平成24年5月1日以降申請分から適用する。

附 則

この要綱は平成25年8月19日から施行し、平成25年8月19日以降申請分から適用する。

附 則

この要綱は令和2年1月1日から施行し、令和2年年1月1日以降申請分から適用する。

附 則

この要綱は令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は令和4年4月1日から施行する。ただし、令和4年3月31日以前に自動車を改造した者に対する助成金額は、なお従前の例による。

自動車改造費助成申請書

神戸市長 へ

(申請者) 住所 〒 -  
氏名  
生年月日 年 月 日  
電話 ( ) -

神戸市身体障害者用自動車改造費助成要綱第 5 条の規定に基づき、改造費の助成を受けたく  
関係書類を添え申請します。

なお、所得要件の審査のため、市民税の課税状況等について確認することに同意します。

※以下の太枠内をご記入ください。

身体障害者手帳	県・市 第 号 ( 年 月 日交付)		
障害名			級
自動車運転免許証	番号		交付年月日
	免許の条件		
改造部位	[ ] 操向装置 [ ] 駆動装置 [ ] その他 具体的に		
所得税課税所得金額	円	所得要件 (適・否)	

区保健福祉部決裁欄

課長	係長	担当

様式第2号

(公印省略)  
第 号  
年 月 日

様

神戸市長

自動車改造費助成決定通知書

年 月 日付で申請のありました自動車改造費助成について、下記のとおり決定いたします。

なお、神戸市身体障害者用自動車改造費助成要綱第2条(1)に基づき、この決定後、5年間は当助成の支給対象とはなれませんのでご注意ください。

記

助成金額

円

様式第3号

(公印省略)  
第 号  
年 月 日

様

神戸市長

自動車改造費助成申請却下決定通知書

年 月 日付で申請のありました自動車改造費助成について、審査の結果、下記の理由で却下することに決定しましたので通知します。

記

却下理由

自動車改造完了届

神戸市長 へ

住 所

氏 名

さきに、自動車改造費の助成の決定を受け、改造していた自動車が完成したので、神戸市身体障害者用自動車改造費助成要綱第7条に基づき下記のとおり届出いたします。

記

1 改造施行業者名

住 所

連絡先

2 改造部位

3 改造完了年月日

年 月 日

自動車改造費助成金請求書

神戸市長あて

住 所

氏 名

T E L ( ) -

請求金額 円

神戸市身体障害者用自動車改造費助成要綱第7条の規定に基づき、自動車改造費の交付を請求します。下記の銀行口座に振込して下さい。

銀行名	銀行	支店名	支店	預金種目	1 普通							
					2 当座	その他						
口座番号												
口座名義 (カナ)												

- ※1 口座名義が30字を超える場合、31字以下は省略。
- ※2 口座名義は、助成申請者と同一の名義であること。
- ※3 口座名義が異なる口座への振込となる場合は、受領委任状兼口座指定書を提出すること。



字訂正  
字加入  
字抹消

⑩

年 月 日

## 受領委任状兼口座指定書

(委任者) 住 所  
氏 名 ⑩

私は、 を代理人と定め、下記1の決定による下記2の金額の受領を委任します。

1. 決 定

2. 受領委任する金額 ¥ ー

上記権限の委任を受けることを承諾します。下記の口座に振込みしてください。

(受任者) 〒 [ ] - [ ]  
住 所  
氏 名 ⑩  
電 話 ( ) ー

銀行名	銀行	支店名	支店	預金 種目	1普通 2当座 その他 ( )
口座番号					
口座名義 (カナ) ※30字を超える 場合31字以下 は省略					

※1 口座名義が30字を超える場合、31字以下は省略。

※2 口座名義は、受任者と同一の名義であること。